

第22期

運用報告書(全体版)

中小型成長株オープン
(愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン)

【2025年 3 月 4 日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「中小型成長株オープン（愛称 スモール・モンスターズ・ジャパン）」は、2025年 3 月 4 日に第22期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋 2-2-1
ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の 9:00～17:00）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／国内／株式
信 託 期 間	2014年3月10日から2029年3月2日までです。
運 用 方 針	主として、わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式のうち、相対的に時価総額が中小型規模の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して積極的な運用を行います。また、新興市場の株式に積極的に投資する場合があります。
主 要 投 資 対 象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）株式を主要投資対象とします。
投 資 制 限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎年3月4日および9月4日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			TOPIX Small (配当込み)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 騰 落	中 率			
	円			円		%	%	%	百万円
18期(2023年3月6日)	27,067			0	3,980.95	9.1	95.3	—	666
19期(2023年9月4日)	28,467			0	4,559.07	14.5	93.5	—	727
20期(2024年3月4日)	32,593			0	4,959.47	8.8	96.7	—	731
21期(2024年9月4日)	32,503			0	△ 0.3	0.6	94.6	—	725
22期(2025年3月4日)	33,320			0	5,180.58	3.8	95.1	—	729

(注) 基準価額および分配金（税引前）は 1 万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) TOPIX Small（配当込み）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

配当込みTOPIX Small（以下、「TOPIX Small（配当込み）」といいます。）の指数値及びTOPIX Small（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社の知的財産です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

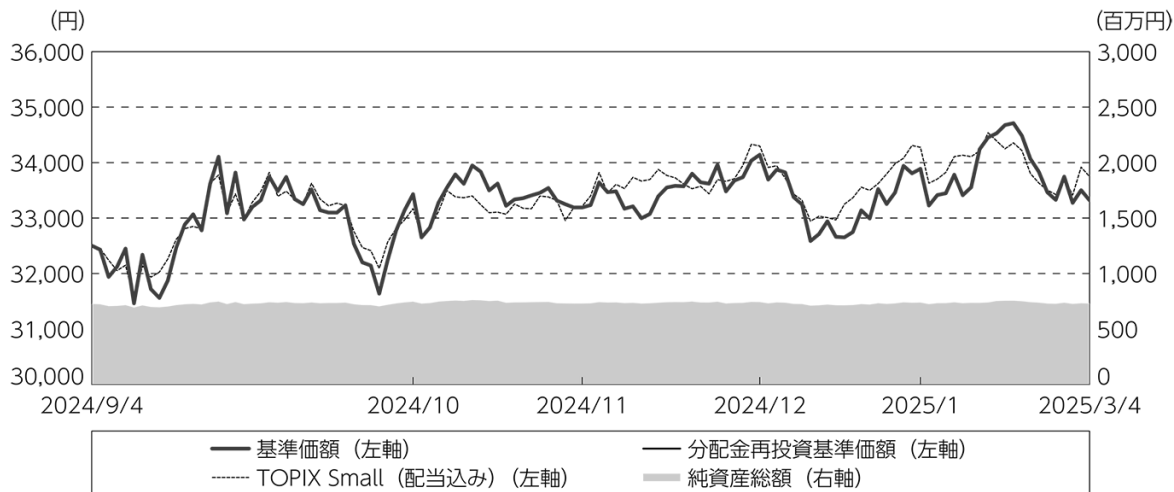
年 月 日	基 準	価 額		TOPIX Small (配当込み)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落	率	(参 考 指 数)	騰 落 率		
(期 首)	円		%	ポイント	%	%	%
2024年9月4日	32,503		—	4,989.48	—	94.6	—
9月末	33,087		1.8	5,080.36	1.8	96.7	—
10月末	33,431		2.9	5,091.91	2.1	96.4	—
11月末	33,191		2.1	5,098.51	2.2	97.0	—
12月末	34,142		5.0	5,265.24	5.5	97.4	—
2025年1月末	33,888		4.3	5,261.57	5.5	98.4	—
2月末	33,274		2.4	5,129.60	2.8	95.6	—
(期 末)							
2025年3月4日	33,320		2.5	5,180.58	3.8	95.1	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2024年9月5日～2025年3月4日）



期 首：32,503円

期 末：33,320円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率： 2.5%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）参考指数は、TOPIX Small（配当込み）です。
- （注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2024年9月4日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

〇基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・業種配分では、サービス業、機械、電気機器などが基準価額にプラスに寄与しました。
- ・個別銘柄では、M I C、I M V、武蔵精密工業などが基準価額にプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・業種配分では、情報・通信業、小売業、医薬品などが基準価額にマイナスに影響しました。
- ・個別銘柄では、Japan Eyewear Holdings、大栄環境、円谷フィールズホールディングスなどが基準価額にマイナスに影響しました。

投資環境

（2024年9月5日～2025年3月4日）

当期の国内株式市場は堅調な相場展開となりました。日本国内での衆議院選挙、米国での大統領選挙などの政治イベントを通過することで投資家心理が改善したことに加えて、堅調な企業業績や上場企業による自社株買いなどが株価の下支え材料となりました。しかし、期末にかけては米国の新たな関税発動に伴う世界景気の悪化懸念や円高進行などを背景に下落する場面がみられました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年9月5日～2025年3月4日）

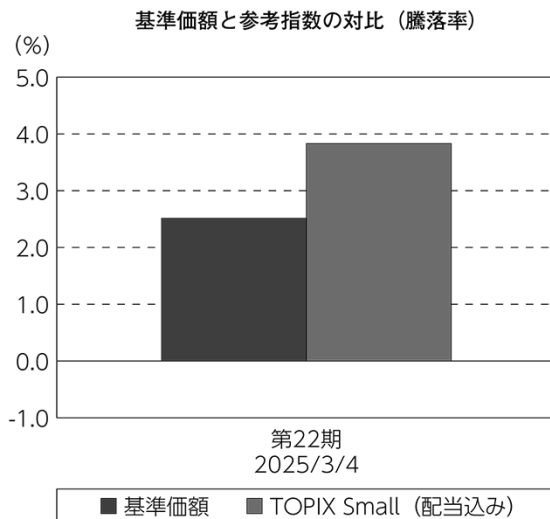
当ファンドの運用につきましては、企業の中長期的な利益成長ポテンシャルや業績変化に着目した銘柄選別を実施しました。

具体的には、海外事業の成長性を評価した鴻池運輸や、インバウンド需要を追い風に会社計画を上回る利益成長が期待されるハピネットなどを買い付けました。一方、決算発表を受けて短期的に株式市場において評価が高まりにくい展開を想定したJapan Eyewear Holdingsや、株価指標面での割安感に残るものの、不採算事業の整理に当初想定より時間を要すると判断したグンゼなどを売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年9月5日～2025年3月4日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、TOPIX Small（配当込み）です。

分配金

（2024年9月5日～2025年3月4日）

当期の分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第22期
	2024年9月5日～ 2025年3月4日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	23,319

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

国内株式市場は、当面は方向感がない展開が継続すると予想します。日米でインフレ懸念から利上げ観測が高まることで株価の上値が重くなる展開や、貿易摩擦の激化によって世界経済の先行き不透明感が強くなるといったリスクシナリオが顕在化する蓋然性が高まっているとも考えられます。一方で、2025年度も増額が見込まれる自社株買いが株価の支援材料になると思われ、一旦下落したとしても、いずれ株価は戻っていく公算が大きいと見ております。

当ファンドの運用につきましては、中小型・新興市場株の中から、高い技術力や優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などに着目し、飛躍的な成長が期待される企業の株式に投資します。

今後の運用につきましては、決算内容の精査や積極的な企業取材を通じて、業績変化率と株価バリュエーション、また株主還元余地などに着目した銘柄選択を心掛けてまいります。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動も推奨するものではありません。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年 9 月 5 日～2025年 3 月 4 日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 155	% 0.464	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 73 ）	（0.218）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 73 ）	（0.218）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 9 ）	（0.027）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	75	0.225	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	（ 75 ）	（0.225）	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.005	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	（ 2 ）	（0.005）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	232	0.694	
期中の平均基準価額は、33,502円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

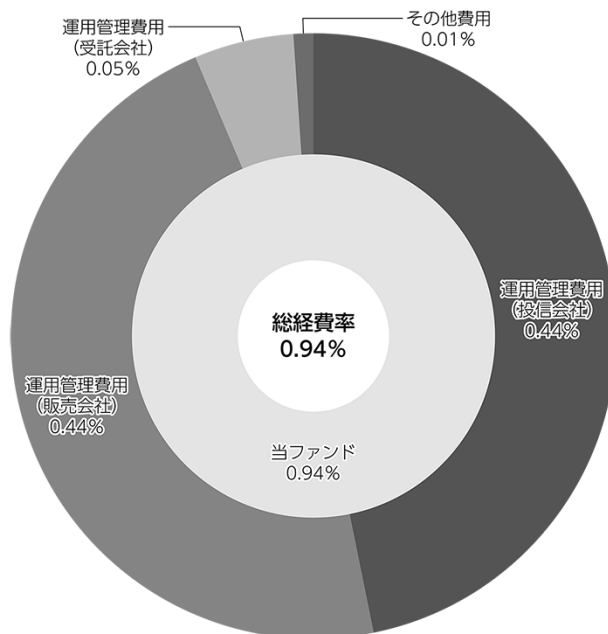
（注）各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.94%です。



（注）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注）各比率は、年率換算した値です。

（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年9月5日～2025年3月4日）

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	上場	千株	千円	千株	千円
内		618	984,962	535	994,562
		(10)	(—)		

（注）金額は受渡代金。

（注）単位未満は切捨て。

（注）（ ）内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

（2024年9月5日～2025年3月4日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,979,525千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	711,718千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.78

（注）(b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2024年9月5日～2025年3月4日）

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 984	百万円 56	% 5.7	百万円 994	百万円 197	% 19.8

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株式	百万円 14

（注）単位未満は切捨て。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,651千円
うち利害関係人への支払額 (B)	166千円
(B) / (A)	10.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは株式会社 S B I 証券です。

○組入資産の明細

(2025年3月4日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
食料品 (1.6%)			
和弘食品	2.6	2.4	11,028
繊維製品 (0.1%)			
ゲンゼ	6.4	—	—
T E N T I A L	—	0.4	960
化学 (—%)			
四国化成ホールディングス	10.7	—	—
中国塗料	5.9	—	—
医薬品 (3.4%)			
ペプチドリーム	12.5	11.1	23,426
ガラス・土石製品 (6.6%)			
アジアバイルホールディングス	—	29.9	26,880
MARUWA	0.6	0.6	18,846
機械 (19.8%)			
A I メカテック	—	5.9	21,033
木村工機	—	3.6	27,468
三井海洋開発	2.4	8.2	33,743
ユニオンツール	5.6	—	—
ダイコク電機	8.2	—	—
キッツ	—	21.9	25,404
三井E&S	—	17.2	29,394
電気機器 (3.7%)			
図研	5.6	5.5	25,520
精密機器 (3.9%)			
タムロン	6.8	2	7,130
I M V	—	14	20,048
その他製品 (2.3%)			
ブシロード	—	28.8	16,214
フジシールインターナショナル	10.7	—	—
リンテック	8.7	—	—
陸運業 (4.6%)			
鴻池運輸	—	10.8	31,978
情報・通信業 (10.0%)			
豆蔵デジタルホールディングス	16.1	—	—

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
F F R I セキュリティ	13.5	—	—
I G ボート	8	5.7	13,064
コアコンセプト・テクノロジー	—	16.1	17,726
セーフイー	—	11.5	8,326
フレクト	5.9	15.9	29,876
ギフティ	11.3	—	—
J M D C	3.6	—	—
グリッド	6.9	—	—
卸売業 (10.6%)			
ハビネット	—	6.2	31,124
西華産業	7.9	9.2	42,458
小売業 (—%)			
J a p a n E y e w e a r H o l d i n g s	11.3	—	—
保険業 (—%)			
F P パートナー	6.1	—	—
サービス業 (33.4%)			
アストロスケールホールディングス	—	15.9	12,370
タイミー	—	8.8	13,296
N J S	—	3.8	18,107
ヒビノ	7.7	8.5	23,621
グローピング	—	15.3	26,071
M I C	—	14.6	21,754
ジャパンマテリアル	4.8	—	—
フォーラムエンジニアリング	19.1	16.2	18,095
F a s t F i t n e s s J a p a n	15.1	16.1	23,296
シーユーシー	9.5	—	—
G E N D A	15	17	43,945
大栄環境	12.4	11.6	31,285
合 計	株 数 ・ 金 額	260	354
	銘柄数<比率>	30	31
			<95.1%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2025年3月4日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	693,492	91.4
コール・ローン等、その他	65,641	8.6
投資信託財産総額	759,133	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年3月4日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	759,133,041
コール・ローン等	39,676,378
株式(評価額)	693,492,750
未収入金	24,616,800
未収配当金	1,346,500
未収利息	613
(B) 負債	30,114,418
未払金	23,377,404
未払解約金	3,302,739
未払信託報酬	3,394,401
その他未払費用	39,874
(C) 純資産総額(A－B)	729,018,623
元本	218,794,197
次期繰越損益金	510,224,426
(D) 受益権総口数	218,794,197口
1万口当たり基準価額(C／D)	33,320円

（注）計算期間末における1口当たりの純資産額は、3,3320円です。

（注）当ファンドの期首元本額は223,261,809円、期中追加設定元本額は64,641,010円、期中一部解約元本額は69,108,622円です。

○損益の状況（2024年9月5日～2025年3月4日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	4,595,628
受取配当金	4,554,254
受取利息	41,184
その他収益金	190
(B) 有価証券売買損益	11,687,208
売買益	98,512,795
売買損	△ 86,825,587
(C) 信託報酬等	△ 3,434,275
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	12,848,561
(E) 前期繰越損益金	95,254,949
(F) 追加信託差損益金	402,120,916
(配当等相当額)	(320,215,145)
(売買損益相当額)	(81,905,771)
(G) 計(D＋E＋F)	510,224,426
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	510,224,426
追加信託差損益金	402,120,916
(配当等相当額)	(320,215,145)
(売買損益相当額)	(81,905,771)
分配準備積立金	108,103,510

（注）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）収益分配金

決算期	第22期
(a) 配当等収益(費用控除後)	3,626,476円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	9,222,085円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	402,120,916円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	95,254,949円
分配対象収益(a＋b＋c＋d)	510,224,426円
分配対象収益(1万口当たり)	23,319円
分配金額	0円
分配金額(1万口当たり)	0円

＜お知らせ＞

該当事項はございません。